

熊本地震

TMAT 災害医療活動報告

平成 28 年 4 月 16 日 23:30

第 3 報

4 月 15 日昼時点で、一旦活動を終了していましたが、16 日未明の地震（本震）により甚大な被害が出たため、活動を再開いたします。

4 月 16 日

1:26 頃 熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード 7.3、最大震度 6 強の地震が発生。

3:00 頃 TMAT 事務局情報収集開始。14 日の地震より被害が甚大であることを確認。

4:00 頃 TMAT 理事長へ報告。前回より規模を拡大して支援を再開することを決定。

7:00 頃 TMAT 事務局東京本部を再設置。

8:30 頃 本日午前 1 時 25 分頃発生した最大深度 6 強を観測した地震に対して、TMAT としての初動体制について。

○現在、福岡徳洲会病院を拠点として準備を開始。昨日の TMAT 先遣隊坂元医師が現在スタンバイ中。

○TMAT 橋爪理事、當麻医師（八尾）、柳澤看護師（四街道）が飛行機にて福岡へ移動を開始。

○大隅鹿屋病院チームが熊本県八千代にある鏡クリニックに向けて出発準備中。

○長崎北徳洲会病院チームが午前中に福岡徳洲会病院へ救急車で移動予定。

○宇和島徳洲会病院チームが午前中に救急車にて福岡徳洲会病院へ移動予定。

また、西村看護師（松原）を中心としてチーム（看護師 4 名事務他）が、大阪より救急車で福岡に向けて出発しました（車両は東大阪徳洲会病院の協力）
また、関西地区より他 3 台の救急車での出動を準備中。

なお、DMAT として鹿児島徳洲会病院チーム、福岡徳洲会病院チームが熊本赤十字病院に向けて出発した。

10:00 頃 橋爪理事、拠点となる福岡徳洲会病院到着。TMAT 現地（福岡）本部設置。8 チームが参集開始。

13:30 頃 状況

坂元医師（福岡）と中心とする 5 名のメンバーが熊本市の県庁（対策本部）に向かい、現在熊本市内に入った。その他、岸和田、八尾、宇治、宇和島、高砂西部、松原・東大阪の各病院の隊員が救急車で福岡徳洲会病院に向かっている。福岡徳洲会病院対策本部には、橋爪理事、當麻医師（八尾）、四街道チーム（柳澤看護師他）が到着、今後の対応について調整している。熊本県内の病院はライフラインが止まっており、病院機能に大きな支障が出ているとの情報です。今後天候が荒れる予報です、十分に注意して活動を行ってまいります。

18:00 頃 状況

○TMAT 坂元チーム（長崎北救急車）

熊本県対策本部に向かい情報収集を行った、坂元医師を中心とするチームは、今回の地震で被害が甚大でまだ医療チームが入っていない南阿蘇へ向かうことになった。途中、土砂崩れの影響で自衛隊による作業があり、その間阿蘇郡西原村にある「山西小学校」の避難所を訪問。約 1000 名の住人が避難していた。軽傷の外傷や、体調不良を訴えた避難者 11 名の診療をおこなったが、大きな医療ニーズはなし。その後、道路が開通し、南阿蘇へ再び向かった。途中、同阿蘇郡西原村「河原小学校」で情報収集を行い、18:20 頃、南阿蘇村役場に到着した。今後、情報収集を行い、避難所を中心に状況調査を行う予定。

○福岡本部

- ・松原・東大阪チームが福岡本部に到着、當麻医師（八尾）同乗し、大分方面の状況調査をしたのち南阿蘇に向かう予定。
- ・宇和島チームは四国からフェリーで九州に到着。大分方面から南阿蘇に向かう予定。
- ・八尾チームは 18 時頃福岡本部に到着する予定。その後、高力医師（藤沢）を同乗して熊本に向かう予定。
- ・宇治チームは 21 時頃福岡本部に到着する予定。
- ・岸和田チームは、24 時頃福岡本部に到着する予定。本日は福岡本部に滞在予定。
- ・高砂西部チームは 20 時頃に福岡本部に到着する予定。その後、柳澤看護師を同乗して熊本に向かう予定。
- ・大隅鹿屋チームは南から熊本入りし、八代市にある「鏡クリニック」に到着。その後、南から南阿蘇に向かっている。

23:30 頃 状況

○坂元チーム 5 名（長崎北車両）

18 時 30 過ぎ頃、南阿蘇村役場久木野庁舎に到着。南阿蘇小学校が避難所となっており 170 人避難している事を確認し、19 時頃同小学校に到着。打撲、擦過傷等 6 名の診療を行った。その後、同じく避難所となっている長陽中学校と長陽庁舎体育館に 500 人の避難者がいることを確認し、移動。同体育館仮設診療所を設置し診療することとなった。また、東海大学グラウンドに 578 名の避難者がいることも確認しており、土砂崩れにより車両ではいけないため、明日徒歩で向かう予定とした。全体的に緊急性の高い医療ニーズはないものの、孤立集落を抱える地域であるため救護所の必要性はある。

また、同地域にある有料老人ホーム「はなみずき」からの要請で、疲弊している職員に代わり、看護師 2 名（西村・長崎北、川添・福岡）が当直業務に入ることとした。

なお、大隅鹿屋チームと宇和島チームが一時南阿蘇で合流したがが滞在していたが、大隅鹿屋チームは一旦八代市の鏡クリニックの帰ることとした。

坂元チームと宇和島チームは本日南阿蘇に宿泊する予定。

○當麻チーム（松原・東大阪車両）

18:30 頃、當間チームが福岡徳洲会病院を出発。大分自動車道で大分方面に向かい、九重町、小国町、南小国町の対策本部、避難所を訪問するも緊急性の高い医療ニーズなし。その後南阿蘇村に向かい、23:30 頃坂元チームと合流した。當麻チームも同所で宿泊する予定。（南阿蘇には 3 チームが滞在）

○高力チーム（八尾車両）

19:30 頃、高力チームが福岡徳洲会病院を出発、熊本市内に向かい、益城熊本空港インター近くの「グランメッセ熊本」という大きめの避難所を視察。同所は 2500 台の駐車場を開放しており、おおよそ 7000 人超の益城町民が車で避難。益城町役場職員によると益城町で一番多くの避難民がいる模様。建物は浸水しガラスが割れ使用していない状況。同所に医療チームはいないが、緊急性の高い医療ニーズはなし。

益城町は住宅被害や道路被害が大きく、昨日一昨日 T MAT 先遣隊が拠点として活動していた益城町役場は倒壊しており、人はいなかった。

その後、益城町の保健福祉センター「はびねす」に向かった。同所には 900 名ほど避難者がおりこの地域の医療支援を行っているが、DMAT や J MAT がすでに活動していた。日中、軽傷や体調不良者が 50~100 名程度診療したとのこと。明日以降も DMAT、J MAT が活動する予定とのこと。

その後、23 時過ぎ、熊本医療センターを訪問、DMAT 統括と情報交換を行った。本日は熊本市内に宿泊予定。

○柳澤・宇治チーム（高砂西部車両、宇治車両）

21:30 頃柳澤・宇治チームは2台で、物資調達の依頼を受けた熊本医療センターへ向かった。必要な物資を調達（小児アレルギー食、粉ミルク等）したのち、23:30 頃熊本医療センターに到着。物資の引き渡しをしたあと、高力チームと合流した。本日は熊本市内に宿泊予定。

○岸和田チーム（岸和田車両）

23時30頃に福岡徳洲会病院に到着し、本日は福岡に宿泊予定。明日は、6時半に熊本に向けて出発予定。

【活動メンバー】

坂元チーム（長崎北車両）

坂元 孝光 医師（福岡徳洲会病院）
川添 陽介 看護師（福岡徳洲会病院）
白井 耕志 看護師（福岡徳洲会病院）
寺才元 孝一 事務（福岡徳洲会病院）
西村 俊謙 看護師（長崎北徳洲会病院）

當麻チーム（東大阪車両）

當間 俊彦 医師（八尾徳洲会総合病院）
田中 雄基 医師（福岡徳洲会病院）
西村 浩一 看護師（松原徳洲会病院）
田中 文 看護師（松原徳洲会病院）
大西 美由紀 看護師（松原徳洲会病院）
芝 孝一郎 看護師（松原徳洲会病院）

高力チーム（八尾車両）

高力 俊策 医師（湘南藤沢徳洲会病院）
有本 菜実子 看護師（八尾徳洲会総合病院）
土山 優子 看護師（八尾徳洲会総合病院）
瀧平 絵美 看護師（八尾徳洲会総合病院）
浅海 勇樹 事務（八尾徳洲会総合病院）

宇治チーム（:宇治車両）

木庭 茂 医師（宇治徳洲会病院）
丹羽 香織 看護師（宇治徳洲会病院）
森藤 章宏 看護師（宇治徳洲会病院）
藤田 益巳 事務（宇治徳洲会病院）

岸和田チーム（岸和田車両）

芳竹 宏幸 医師（岸和田徳洲会病院）
中村 直晶 看護師（岸和田徳洲会病院）
藤原 裕 看護師（岸和田徳洲会病院）
西本 幸司 事務（岸和田徳洲会病院）

大隅鹿屋チーム（大隅鹿屋車両）

有村 芳文 看護師（大隅鹿屋病院）
伊達 由和 看護師（大隅鹿屋病院）
甲斐 昭彦 事務（大隅鹿屋病院）
山元 大作 事務（大隅鹿屋病院）
久保 公男 事務（大隅鹿屋病院）
前村 辰浩 事務（大隅鹿屋病院）

宇和島チーム（宇和島車両）

富永 誠 看護師（宇和島徳洲会病院）
田邊 和也 看護師（宇和島徳洲会病院）
赤嶺 豊 事務（宇和島徳洲会病院）
池田 信正 事務（宇和島徳洲会病院）

柳澤チーム（高砂西部車両）

柳澤 修平 看護師（四街道徳洲会病院）
橋爪 よしの 看護師
長谷川 広市 事務・臨床工学技士（東大阪徳洲会病院）
羽田 博之 事務（八尾徳洲会総合病院）

福岡本部

橋爪 慶人 医師（東大阪徳洲会病院）TMAT 理事
倉掛 真理子 看護部長（福岡徳洲会病院）
竹中 学 事務部長（福岡徳洲会病院）
吉澤 由美 理学療法士（四街道徳洲会病院）
屋宜 盛仁 事務（四街道徳洲会病院）
鳥飼 茂 事務（福岡徳洲会病院）
楠原 省仁 事務（福岡徳洲会病院）
江川 美知子 事務（福岡徳洲会病院）

東京本部

福島 安義 TMAT 理事長
野口 幸洋 TMAT 事務局（一般社団法人徳洲会）



阿蘇郡の避難所で診療



体育館に多くの住人が避難(阿蘇郡)



住宅被害は甚大(阿蘇郡)



益城町は建物被害大きく人の気配ない



DMAT と情報交換 (熊本医療センター)



福岡現地本部 (福岡徳洲会病院)

事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAP / 一般社団法人徳洲会東京本部)

(文責 事務局 野口 幸洋)